

## 第 19 期福井糖尿病療養指導担当者教育講習会 7 月講義施行ミニテスト

解答は解答用紙に記入してください。

以下の各文について、正しい文には○印、間違いのある文には×印を付けなさい。

- 1 「甘いものをつい食べてしまって、いや病気によくないことはよ〜くわかっているんですけど、同僚が甘いもの勧めてくるから仕方がない、いくらアドバイスされてもねえ。」といわれるので、「どうでしょう、同僚のかたに医者から止められているので。」と事前に断っておくことを提案した。
- 2 糖尿病療養についての各種知識・情報は、すぐれたセルフケアの第一要件である。
- 3 “よし、セルフケアを自分から進んでやろう、という気持ちの患者には、日々の暮らしのことだけでなく行事やスポーツ参加、などの応用的な話題での指導を行なってよい。
- 4 「多忙で外食ばかりだから食事療法は無理」という56歳で認知に問題のない男性に対し、具体的な解決法をすぐに話し合わず、困難な食事についてどう感じているか聴いた。これは適切か？
- 5 糖尿病の療養を始めて5年、HbA1cは長期にわたって6.5%前後を維持している。この時期では、療養による不利益が減少し利益がより増加してくる。
- 6 グループワークを行う際の進行役は、全体の進行や流れに対して、時間枠を考えて強いリーダーシップを発揮し、話を率先誘導する方法は取らないほうがよい。
- 7 個々の患者の学習の準備状態や許容度は、いつも同じとは限らないので、一律の内容計画を推し進めると、内容不足になることが第一の問題。
- 8 「甘いものをつい食べてしまって、いや病気によくないことはよ〜くわかっているんですけど、同僚が甘いもの勧めてくるから仕方がない、いくらアドバイスされてもねえ。」といわれるので、「それじゃいったんおいておいて、別のお話をしよう。」といって話題を変えてみた。

解答欄

1	<input type="text"/>	6	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	7	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	8	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>		
5	<input type="text"/>		